

2022年11月24日

SEM VALUE

【IR説明会資料】

2022年度上期実績と通期業績見通しについて



住友電設株式会社

1. 2022年度上期の実績
2. 2022年度通期の見通し
3. 2022年度工事種別の見通し
4. 中期経営計画 VISION24について
5. 株主還元方針について

1. 2022年度上期の実績
2. 2022年度通期の見通し
3. 2022年度工事種別の見通し
4. 中期経営計画 VISION24について
5. 株主還元方針について

◇経営成績 **受注高・売上高・手持工事高は上期としての過去最高を更新**

[受注高・売上高] 前年同期比増加

データセンター、物流倉庫、工場案件などの大型工事の受注・売上が堅調に推移

[営業利益・経常利益] 前年同期比増益

働き方改革、職場環境改善など人への投資に伴う経費増を、売上高の増加によりカバー

◇2022年度上期業績

(単位:億円)	2021上期	2022上期			前年同期比	
	実績	公表値	実績	公表比	増減	増減率
受注高	922	-	989	-	67	7.3%
売上高	729	790	815	25	86	11.9%
営業利益率	49.9 6.9%	48.0 6.1%	53.1 6.5%	5.1 0.4%	3.2 △0.3%	6.3% -
経常利益率	55.1 7.6%	52.0 6.6%	58.4 7.2%	6.4 0.6%	3.2 △0.4%	5.9% -
純利益率	35.7 4.9%	33.0 4.2%	37.9 4.6%	4.9 0.5%	2.2 △0.2%	6.2% -
手持工事高	1,167	1,138	1,261	123	95	8.1%

◇2022年度中間配当金 **1株当たり43円** (年初公表から変更なし)

1-2. 2022年度上期 工事種別売上高

- 電力工事** 電力会社向けは堅調、民需・FIT案件の減少が大きく、全体としては前年同期比減少
- 一般電気工事** 国内：データセンター、物流倉庫など大型工事が順調に進捗、前年同期比増加
海外：工場案件など大型工事の進捗、円安による押上げもあり、前年同期比増加
- 情報通信工事** 通信：移動体基地局工事が順調に進捗、前年同期比増加
情報通信：再開発案件等により、前年同期比増加
- プラント空調** プラント工事の進捗により、前年同期比増加

工事種別売上高 (単位：億円)	2020年度 上期	2021年度 上期	2022年度 上期	'21-'20 増減率	2022年度 構成比
電力工事	94	89	82	△8.4%	10.0%
一般電気工事	411	433	509	17.6%	62.5%
単体+国内子会社	313	323	355	9.9%	43.5%
海外子会社	98	110	154	39.9%	18.9%
情報通信工事	114	113	127	12.5%	15.6%
プラント・空調工事	47	51	53	3.4%	6.5%
その他 ※	41	42	44	4.8%	5.4%
合 計	708	729	815	11.9%	100.0%

※その他

保険代理店業務・空調機器・太陽光発電システム等の販売・機器製作・修理及び給湯器の製造販売

1. 2022年度上期の実績
- 2. 2022年度通期の見通し**
3. 2022年度工事種別の見通し
4. 中期経営計画 VISION24について
5. 株主還元方針について

2-1. 2022年度の見通し

◇ 事業環境

期待需要：都市圏再開発事業、データセンター、物流倉庫、再生エネルギー関連、ICT環境整備に伴う情報通信投資、大阪・関西万博関連投資、等

懸念リスク：新型コロナウイルス感染症の再拡大、地政学的リスク、半導体不足、資機材納期遅延・価格高騰、急激な円安、これらを受けた設備投資の延期・縮小

◇ 中期経営計画VISION24テーマ「新たな成長戦略と総合力で持続的発展を！」

◇ 2022年度連結業績予想：前期比増収増益（年初公表からの変更なし）

(単位:億円)	2020 実績	2021 実績	2022 公表値	前期比 増減率	VISION24
受注高	1,621	1,790	1,800	0.5%	2,000
売上高	1,541	1,676	1,750	4.4%	2,000
営業利益 率	113.2 7.3%	130.1 7.8%	131.0 7.5%	0.7% -	
経常利益 率	119.4 7.7%	139.0 8.3%	140.0 8.0%	0.7% -	150.0 7.5%
純利益 率	80.5 5.2%	91.4 5.5%	92.0 5.3%	0.6% -	

◇ 2022年度配当金予想（年初公表からの変更なし）

2021年度と同額の **1株当たり年間86円**（中間43円）を予定

2-2. 2022年度 工事種別売上高の見通し

海外含む一般電気、情報通信、プラント空調の伸長を見込み増収を計画

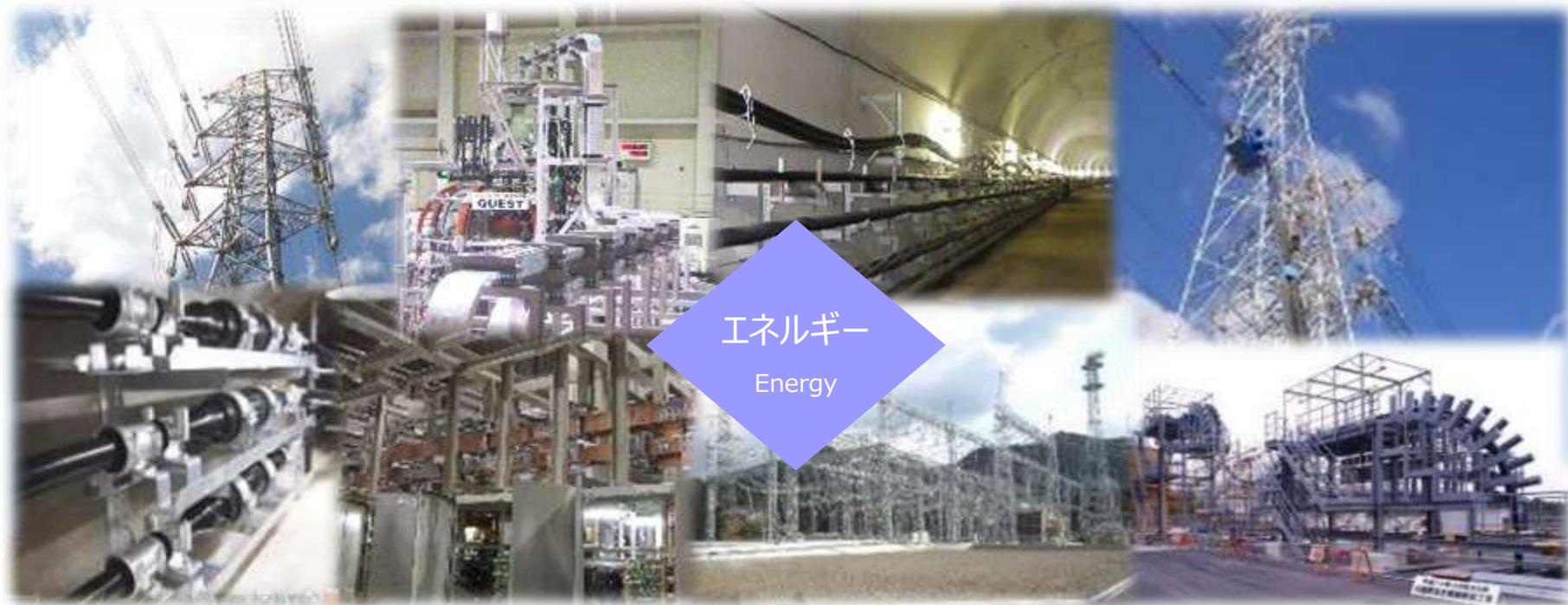
(年初公表からの変更なし)

工事種別売上高 (単位：億円)	2020年度	2021年度	2022年度 予想	'21-'20 増減率	2022年度 構成比
電力工事	209	203	200	△1.4%	11.4%
一般電気工事	871	1,007	1,060	5.3%	60.5%
単体+国内子会社	681	768	790	2.8%	45.1%
海外子会社	190	238	270	13.4%	15.4%
情報通信工事	277	275	290	5.5%	16.6%
プラント・空調工事	101	106	120	13.2%	6.9%
その他 ※	83	86	80	△6.7%	4.6%
合 計	1,541	1,676	1,750	4.4%	100.0%

※その他

保険代理店業務・空調機器・太陽光発電システム等の販売・機器製作・
修理及び給湯器の製造販売

1. 2022年度上期の実績
2. 2022年度通期の見通し
- 3. 2022年度工事種別の見通し**
4. 中期経営計画 VISION24について
5. 株主還元方針について



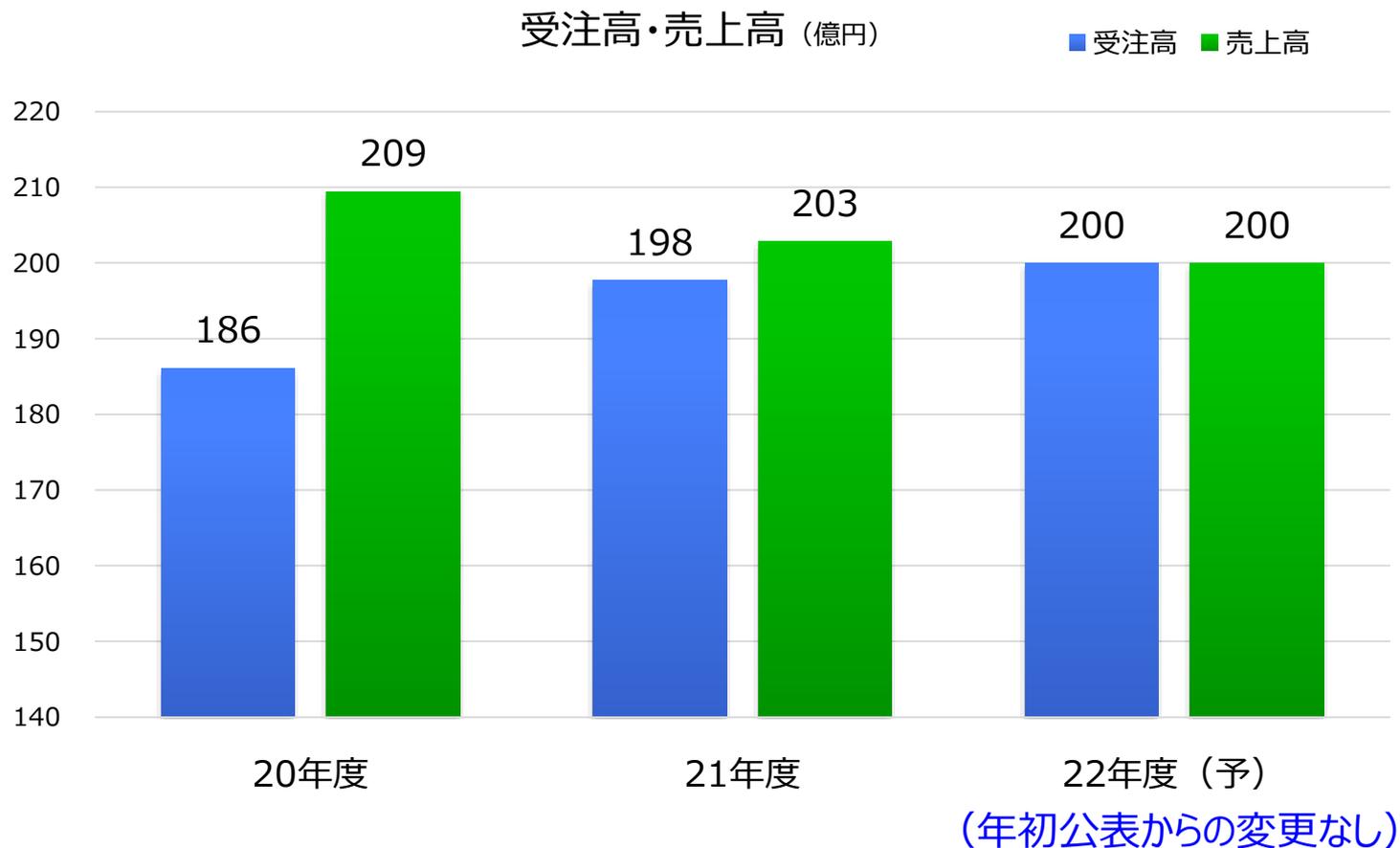
顧客のニーズと信頼に応え、高品質な電力輸送技術を提供。

現代社会になくてはならない電気。住友電設はこの「電気」の輸送に必要な架空送電設備、地中送電設備、変電設備、配電設備等に多くの施工実績を誇っております。

また、現在では新エネルギー関連分野である太陽光発電所、風力発電所、水力発電所からの電力を供給するための系統連系設備についても携わっております。

詳しくは当社ホームページをご覧ください。 <https://www.sem.co.jp/business/energy/>

3-1. 電力工事 2022年度の見通し



【2022年度見通し】

電力会社向け案件の将来需要も含めた確実な確保と、再生可能エネルギー関連投資の受注にも注力し、中期的な成長に取り組む。
2022年度は、受注高・売上高ともに前年並みを計画。

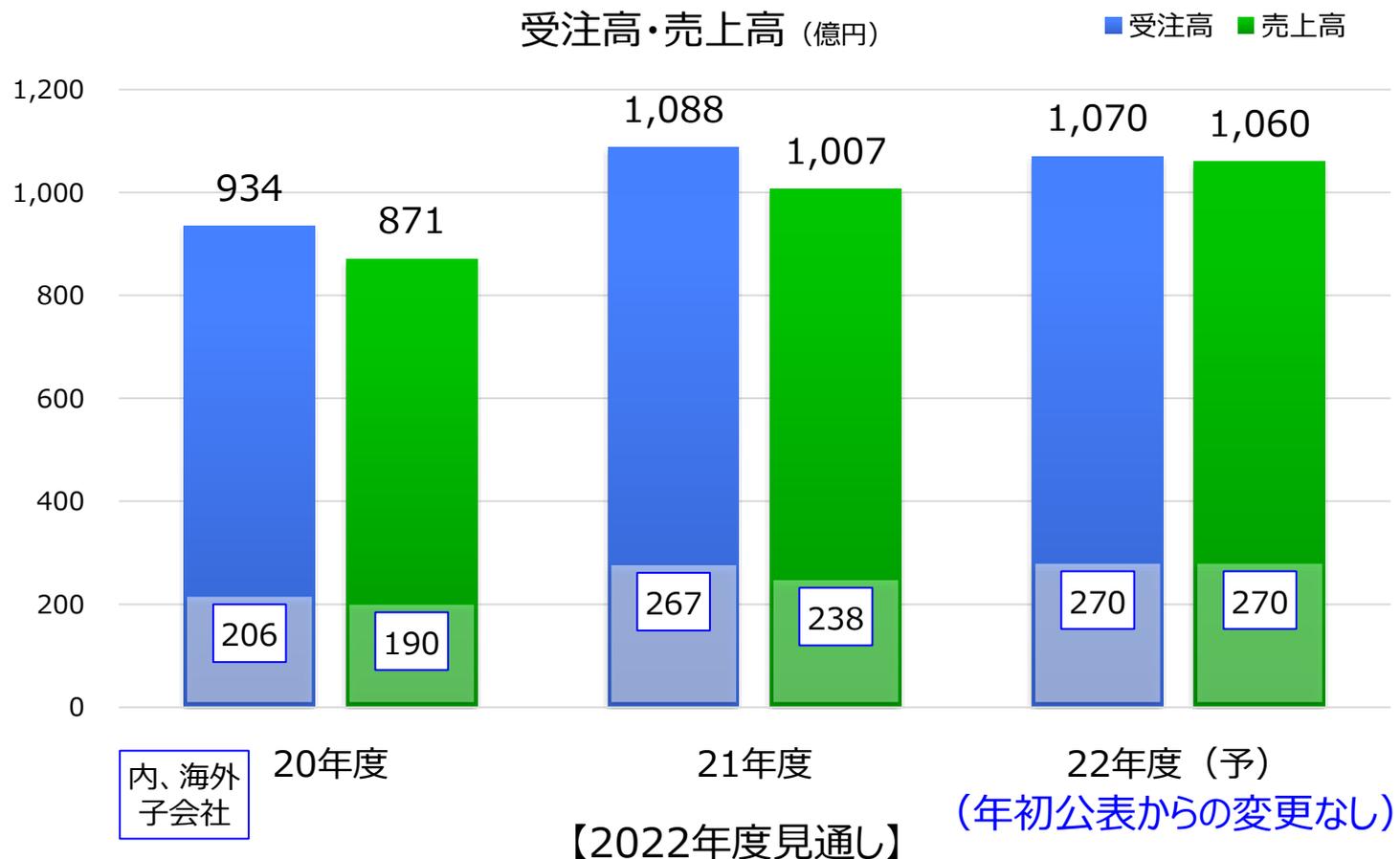


電気：重要性を増す電気設備において、**迅速かつ高品質**なサービスを提供。
環境：太陽光、蓄電池、バイオマスなど**新時代のエネルギー活用**に貢献。
海外：東南アジアで**50年の実績**。お客様と地域の発展に貢献。

住友電設は、各種電気設備（強電・弱電・防災・セキュリティ）について、高い技術力を武器に、迅速かつ高品質な計画・設計、施工、メンテナンスを実現。豊富な国内外の実績をもとにあらゆるニーズに対応していきます。

詳しくは当社ホームページをご覧ください。 <https://www.sem.co.jp/business/electric/>

3-2. 一般電気工事 2022年度の見通し



国内：都市圏再開発、データセンター、物流倉庫、工場などの案件獲得にバランスを考慮しながら取り組む。大阪・関西万博案件も見込む。

海外：急激な円安の進行は、日系企業の東南アジア投資への影響が懸念されることから、非日系案件の獲得にも注力していく。

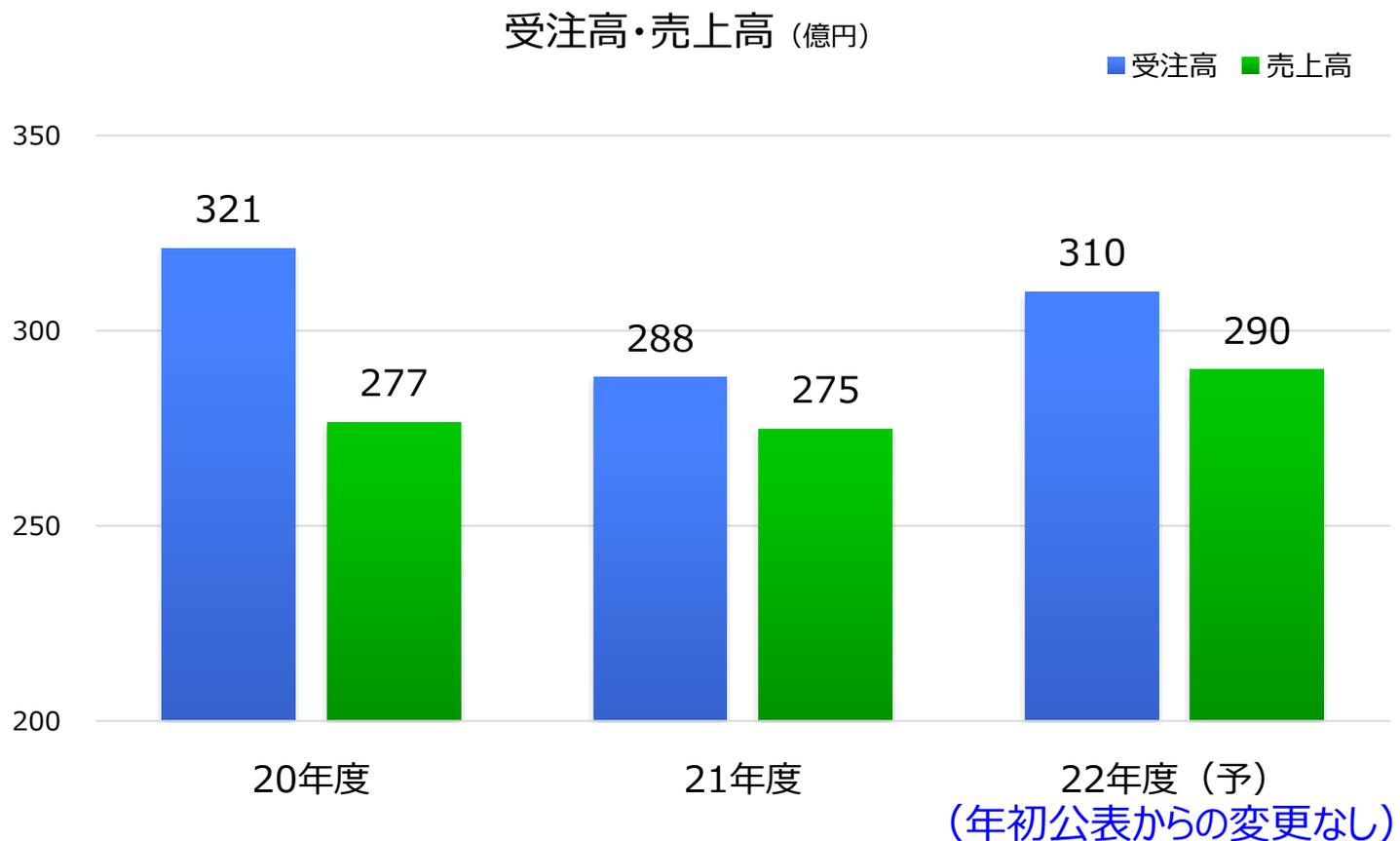


蓄積されたノウハウで最適なネットワーク構築をサポート

通信・放送インフラのコンサルティングからシステム設計・施工・運用保守までのトータルエンジニアリングを提供。これからのICT社会を支えています。

IT社会の発展とともに、そのインフラである情報ネットワークの重要性は高まるばかりです。住友電設では、同業他社に先駆けて情報ネットワーク構築に取り組み、さまざまな企業・大学・病院・データセンター等での導入を実現。これまでに蓄積された構築ノウハウを活かし、設計・構築、運用・保守まで最適なシステムをトータルに提供いたします。

詳しくは当社ホームページをご覧ください。 <https://www.sem.co.jp/business/information/>



【2022年度見通し】

半導体不足等の影響は依然として継続、都市圏再開発案件や、新たな社会インフラ事業にかかる案件獲得にも注力していく。

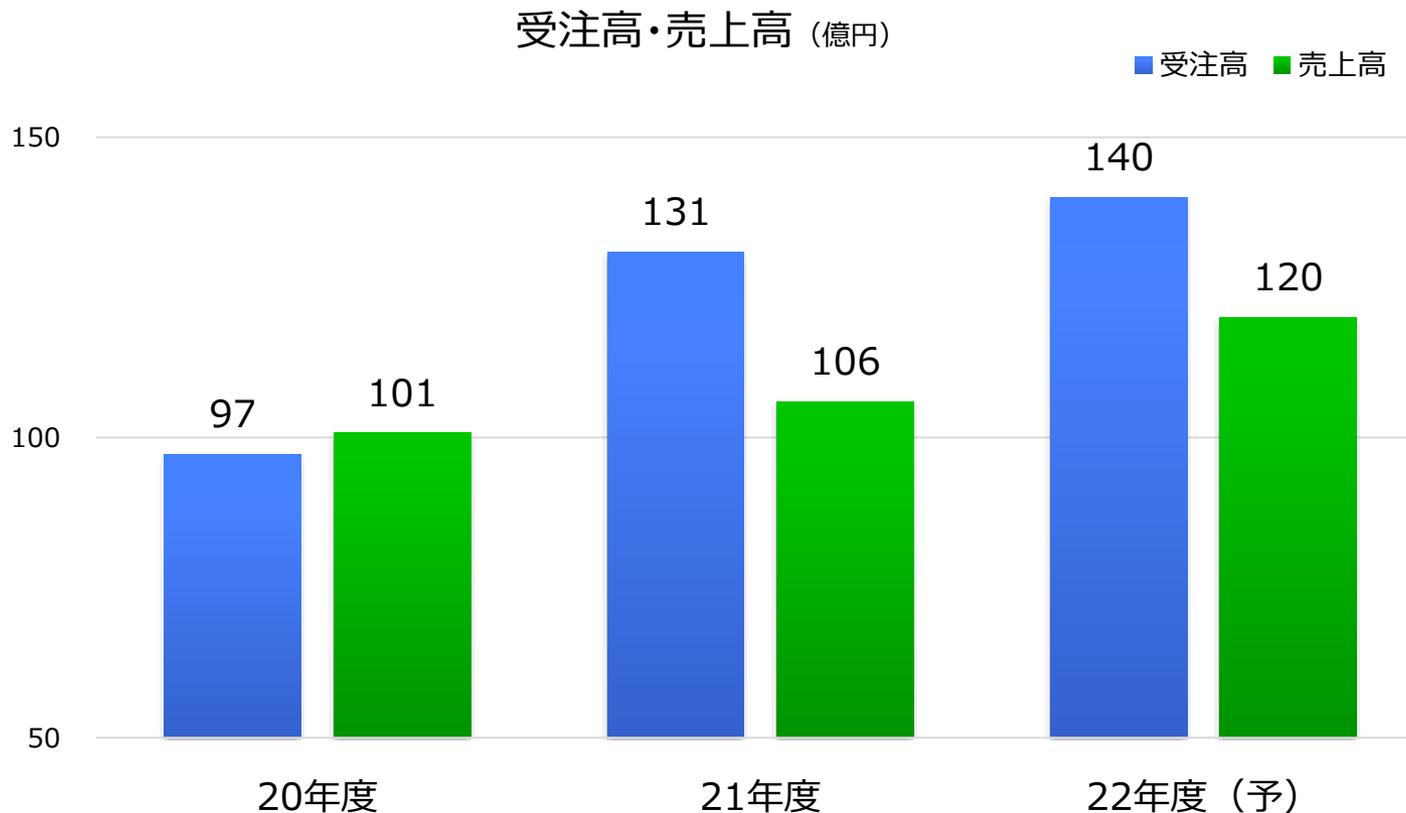
受注高・売上高ともに前期比増加を計画。



ビルや工場における環境をより快適に、便利に

各種製造プラントにおけるプラント機械工事、工場・オフィスビル・ホテルなどの空調・衛生設備工事において、計画・施工・メンテナンスを実施。さまざまな用途のビル、工場において、衛生的で快適な環境の確保、生産・管理面での利便性の向上を実現します。

詳しくは当社ホームページをご覧ください。 https://www.sem.co.jp/business/plant_hvac/



【2022年度見通し】

住友電工グループのリニューアル工事案件に継続して取り組んでいくとともに、オフィスビル・物流倉庫やプラント工事案件などの受注活動にも注力していく。受注高・売上高ともに前期比増加を計画。

1. 2022年度上期の実績
2. 2022年度通期の見通し
3. 2022年度工事種別の見通し
4. 中期経営計画 VISION24について
5. 株主還元方針について

【住友電設グループのあるべき姿】

人と技術の成長を通して、真に社会から求められる
総合エンジニアリング企業を目指す

【V24テーマ】

新たな成長戦略と総合力で持続的発展を！

チーム住友電設 ・ SEMブランド力の向上（安全安心・高品質、信頼性・企業価値）

【重点施策4項目】

安全品質・
コンプライアンス

顧客満足度向上の追求
（提案営業力・施工力・技術力）

人材の確保・育成と
働き方改革

未来を見据えた
企業価値の向上

住友電設グループ企業理念
住友事業精神



< 連結 受注高・売上高・経常利益・経常利益率 >

	VISION24 2024年度目標
受注高	2,000億円
売上高	2,000億円
経常利益	150億円
経常利益率	7.5%

- **成長投資**
2020－2024年度（5年間）計 200億円
- **資本効率指標**
ROE（自己資本当期純利益率）：10%をターゲット
- **財務健全性指標**
自己資本比率：50%水準を維持
- **株主還元施策**
配当性向：40%をターゲット（2024年度）

カーボンニュートラル推進室の設置

2022年6月1日、技術本部内にカーボンニュートラル推進室を設置いたしました。地球温暖化や気候変動問題から世の中は脱炭素社会へと進んでおり、お客様のニーズや困りごとについても急激に変化しています。同推進室では、ZEBプランニング、太陽光発電（PV）推進支援、リニューアブル省エネ提案（E&M）を中心に既存事業を横断したシナジー効果や事業領域拡大を目指して、調査・研究・コンサルティングなどに取り組み、環境貢献活動として社員の意識改革を推進してまいります。

再生可能エネルギー（自営線ビジネス）のご紹介

風力発電所、太陽光発電所の送電線路の調査・設計から許認可取得、施工までワンストップで対応します

サービスの特長



1. 2022年度上期の実績
2. 2022年度通期の見通し
3. 2022年度工事種別の見通し
4. 中期経営計画 VISION24について
5. 株主還元方針について

5-1. 株主還元方針

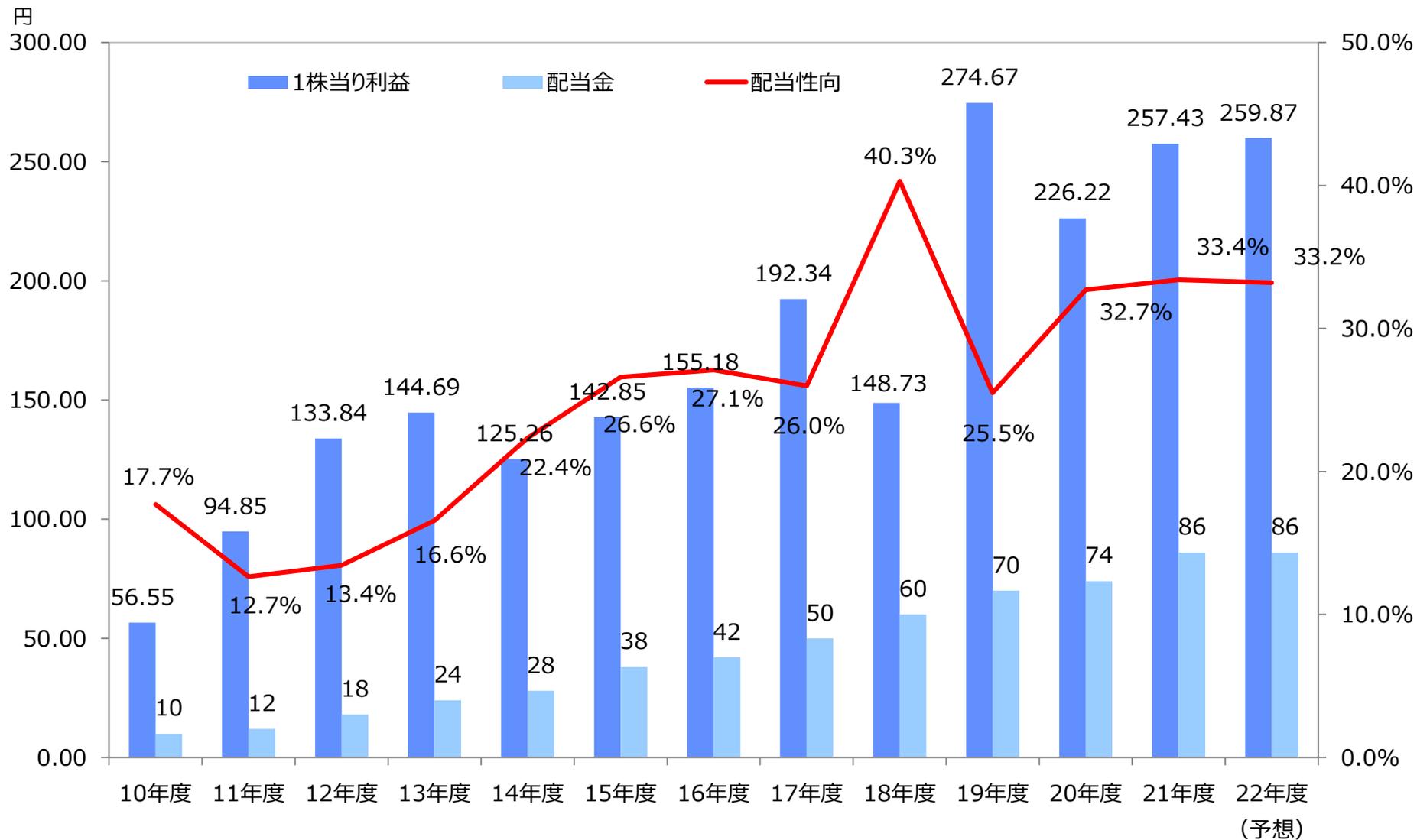
業績並びに将来の事業運営を考慮した上で、安定的な配当を実施してまいります。

(年初公表からの変更なし)

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度 (予想)
親会社株主に帰属する 当期純利益 利益率	68.4億円 4.7%	52.9億円 3.4%	97.7億円 5.7%	80.5億円 5.2%	91.4億円 5.5%	92.0億円 5.3%
配当金/株[円]	50	60	70	74	86	86
中間配当	22	25	30	35	37	43
期末配当	28	35	40	39	49	43
(増配)	(+6)	(+10)	(+10)	(+4)	(+12)	
1株当たり利益 [円]	192.34	148.73	274.67	226.22	257.43	259.87
配当性向	26.0%	40.3%	25.5%	32.7%	33.4%	33.2%
ROE	11.2%	7.9%	13.8%	10.3%	10.6%	

5-2. 1株当たり利益・配当金・配当性向の推移 M VALUE 住友電設

11年度から11期連続の増配を実施



業績予想等に関する注意事項

本資料に記載されているデータや業績予想は、当社が現時点において入手している情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想と異なる場合があります。

お問い合わせ先

住友電設株式会社 総合企画部

東京本社 03-3454-7423

大阪本社 06-6537-3440